



光栄の森

2020年9月 毎月1日発行 第145号
発行者 光栄プロテック 中川

9月に向けて

代表取締役 三田雅憲

今年上半期は、新型コロナウイルスの影響で世界的な経済不況が吹き荒れており、都市封鎖なども国によっては実施されました。帝国データバンクや東京商工リサーチによると観光業・外食を含む飲食業・国際線の旅客関連業・食品製造業などを中心とした倒産や廃業がこの7月末までに400社あったそうです。また、自動車販売の落ち込みを受けて3次・4次請けの中小零細の部品メーカーの倒産なども始まっているそうです。当社もからむ建築業、スーパーゼネコンの業績も直近の4~6月の損益は、4社のうち3社が減収減益を余儀なくされているようです。当社においてもご多分に漏れず対前年売り上げは減収減益であります。しかし、仕事がなくて週1もしくは週2で社員が帰休し(休み)国から助成金を受け取らないとやっていけないという訳でもなく、少ないけれど日々、日々の仕事があることは本当に感謝ですし、このように堅調に仕事が入るのは、日頃からお客さんに良いものをと皆が考えているからです。またそのような企業文化を残してくれた先代をはじめとする先達のおかげであると心より感じます。

この厳しい時期にお互いどう考え、どう乗り越えていくかが、大変重要になってまいります。少しでも時間的・精神的に余裕がある時期に自己技術を磨くとか、新しい技術を身に着けるとか、職場内の3S(整理・整頓・清掃)を徹底するとか、エコアクション21のために材料の再利用・無駄を省くことをいろいろ模索するとか、部下指導を積極的に行うとか、営業的にはあまり連絡をとれてないお客様に電話やメールを入れるなどアプローチを増やすとか、やれることは山ほどあると思います。また、短い間でしたが千葉白井工場で班長代理として、尽力してくれたI君にも心から感謝とお疲れ様を述べたいと思います。毎日一番に工場を開けてもらい、工場での問題点や出来事を日報や電話で話してもらい、私は大変助かっておりました。慣れない仕事柄、また今まで経験した会社との企業文化の違いから戸惑うことも多かったかもしれませんが、しかし、この経験からまたなにか人間的に成長され次に生かすことができたなら、きっと次の職場でも良い方向に行かれるのではないかと期待しております。身体に気を付けて頑張ってください。

千葉白井工場においては、先日も私が全体にお話しいたしましたが、10月の土地売買の最終契約が完了して順調にいけば来年春頃には千葉白井第2工場が竣工する予定です。新しい仲間もその頃には、加入していると思います。新型コロナウイルスの影響がまだよめない中においての大きな投資ですので不安になる方もおられるかもしれませんが、お客様の要望や依頼に少しでも答えるには今であると考えています。今期も社員の事故やケガなく大阪本社及び千葉白井工場が共にますます繁栄するように皆様とともに頑張りたいと存じます。